

国際開発論

目 次

はじめに……*i*

1 国際開発論とは何か 1

- 1 開発の20世紀 1
- 2 開発主義の定着 4
- 3 発展途上国の貧困 5
- 4 貧困とは何か 9
 - 物質的欠如としての貧困 9
 - 自由の欠如としての貧困 10
 - 絶対的貧困と相対的貧困 12
 - 人間開発と HDI 13
- 5 オリエンタリズムとしての開発主義 14
- 6 國際開発論の分析枠組みと学問的の総合性 16
- 7 まとめ 21

2 開発をめぐるさまざまな考え方 25

- 1 経済成長と社会開発 25
- 2 近代化論 27
- 3 資本主義と開発 30
 - 介入主義 (Interventionism) 31
 - 新自由主義 (Neo-liberalism) 32
 - マルクス主義 (Marxism) 33
 - 新ポピュリズム (Neo-populism) 33
 - 脱開発論 (Post-development) 34
- 4 開発をめぐる五つの立場 35
- 5 貧困と開発を21世紀において考える 39
 - 新しい貧困削減方式 40

6 まとめ 45

3 経済成長 1 49

: 農業・農村開発

1 農村貧困の現状 49

2 これまでの農業・農村開発をめぐる取り組み 55

1960年代：緑の革命 57

1970年代：小農の積極的位置づけと国家主導の対策 59

総合農村開発 60

1980年代：市場自由化の時代 61

1990年代：参加とエンパワーメント 63

21世紀：生計アプローチの時代 64

3 農業・農村開発の今後 65

多様化した環境適応型農業 66

農村地域の非農業収入源の多角化 68

4 まとめ 70

4 経済成長 2 73

: 工業化と産業育成

1 一次產品輸出による工業化 74

2 輸入代替工業化 76

3 輸出志向工業化 78

4 東アジアの奇跡 81

5 1997年のアジア経済危機 83

6 今日の途上国の大工業化をめぐる状況 84

貿易悲観論と貿易楽観論 85

南南貿易と経済統合 87

インフォーマル・セクター	89
フェアー・トレード (fair trade)	91

- | | |
|---------------|----|
| 7 経済成長と民主主義 | 94 |
| 8 経済成長と開発のまとめ | 98 |

5 社会開発 1 101 : 保健と医療

- | | |
|--|-----|
| 1 社会開発 | 101 |
| 2 健康とは | 103 |
| 3 ミレニアム開発目標における保健と健康 | 104 |
| 妊産婦の健康の改善 | 104 |
| 疾病予防 | 105 |
| 4 健康確保の取り組み | 107 |
| 歴史的推移 | 107 |
| プライマリー・ヘルス・ケア (Primary Health Care, PHC) | 108 |
| ヘルス・セクター改革へ | 113 |
| 5 今後の保健・医療を考える | 116 |
| 経済政策との整合性 | 116 |
| ジェンダーとリプロダクティブ・ヘルス | 117 |
| サービスの地方分権化 | 119 |
| 6 まとめ | 121 |

6 社会開発 2 125 : 教育

- | | |
|-----------------------------|-----|
| 1 ミレニアム開発目標と教育を受けることができない人々 | 125 |
| 2 開発と教育 | 128 |

3 教育をめぐる歴史的推移	132
第1期：第二次大戦後から1960年代	133
第2期：1960年代から1970年代	133
第3期：1980年代	134
第4期：1990年代以降	135
4 教育改革の現状	138
EFAにいくら必要か？	138
セクター・ワイド・アプローチ	141
教育サービスの地方分権化	142
サービスの民営化	143
5 教育のまとめ	144
6 社会開発のまとめ	146

7 地球的規模の課題1	151
：ジェンダー	
1 地球的規模の諸課題	151
2 セックスとジェンダー	153
3 ミレニアム開発目標とジェンダー	155
4 国際社会のこれまでの取り組み	161
第二次大戦後1970年代まで：近代化論と福祉アプローチ	161
1970年代後半：平等アプローチの登場	162
1980年代：構造調整と効率アプローチ	163
1990年代以降：人間開発とエンパワーメント・アプローチ	164
5 日本におけるジェンダー格差	168
6 まとめ	169

8**地球的規模の課題 2 171**

: 環境保全

- 1 地球環境の課題 171
- 2 ミレニアム開発目標と環境 172
- 3 第二次大戦後の国際社会の環境問題への取り組み 176
 - 第二次大戦後1970年代まで：近代化論の黄金期 176
 - 1970年代：先進諸国での公害と近代化論の衰退 178
 - 1980年代：持続的開発の時代へ 179
 - 1990年代以降：人間開発における環境の位置づけ 180
- 4 開発と環境の両立は可能か? 186
- 5 まとめ 190

9**地球的規模の課題 3 195**

: 人口爆発と都市化

- 1 ミレニアム開発目標と人口問題 195
- 2 人口増加の現状 196
- 3 人口増加をめぐる指標と理論 199
- 4 国際社会の取り組み 202
- 5 現代世界の人口問題 205
 - エイズと人口 205
 - 高齢化と社会保障 207
 - 都市化 210
- 6 まとめ 215
- 7 地球的課題のまとめ 216

10 開発倫理学への接近 219

- 1 開発とは何か 219
- 2 開発倫理学の志向するもの 221
- 3 開発倫理学の台頭 223
 - 開発をめぐる考え方の変遷 223
 - 開発経験 226
 - 現在のグローバル化 228
- 4 開発と文化 230
- 5 誰が価値判断を下すのか 234
- 6 まとめ 237

11 国際協力の役割 241

- 1 南北をつなぐ多様な関係 241
- 2 国際協力の種類 244
 - 政府開発援助 (Official Development Assistance, ODA) 244
 - 民間資金 246
 - NGO・NPO の協力 247
- 3 ミレニアム開発目標における開発パートナーシップ 248
- 4 日本政府による国際協力 250
- 5 日本の市民団体による国際協力 257
- 6 人間の安全保障 259
- 7 まとめ 263

12 むすびにかえて 267

- 1 ミレニアム開発目標を達成するためには何が必要か 267
- 2 アフリカ地域の重要性 270
- 3 日本自身の開発経験を途上国支援に生かす 273

あとがき 275

参考文献 277

索引 297